



山田久美子様

31人目

山田久美子氏、市民後見人受任

笑った顔がとてもチャーミング

この度、20年間成年後見人をされていた方が、ご勇退する事になり、後見支援センターより、私に市民後見人にとのお話がありました。

山田 久美子

私は現在、2件の日常生活自立支援事業の生活支援と1件の後見（保佐）支援を行っています。加えて受任する事にしました。

11月18日、家庭裁判所より審判書が届き、また前任者より被後見人の記録と通帳が郵送されてきましたので、舟橋主査と打ち合わせをしました。被後見人は施設に入所している、施設にアポイン

市民貢献人

会報

苫小牧市後見支援員等連絡会
 発行人：三河敏規
 ☎38-7291
 FAX38-7292

トを取り、舟橋主査と施設と被後見人に後見人交替のご挨拶に伺いました。被後見人は脳性マヒで知的障がい、両手足の麻痺、言語不明瞭の50歳の男性です。お目にかかると笑った顔がとてもチャーミングな方です。

施設の方のお話しですと、新聞やゴミ等の蒐集癖があり他人の物を持つて来て、もめたり、自分の物が無くなると捜し回ったり、大変な面もあるようです。施設内と被後見人の部屋を見せてもらうと、ベッドの周りは新聞やゴミが袋に入って何個も置いてありました。

被後見人はスタッフの方の好き嫌いもある様で、私も嫌われない様に頑張って人間関係を築き、支援していきたいと思っています。

第9期生

市民後見人

養成研修修了

8月7日に始まった令和3年度第1回市民後見人養成研修は、緊急事態宣言で8月14日から中断。10月16日再開、11月6日18名が晴の修了式を迎えられました。猛暑の夏から晩秋に季節は移り、受講生の皆様は苦難を乗り越え、修了証書手にされました。心より喜び申し上げます。



安堵城健二氏、市民後見人受任

皆さんと共に

安堵城 健二

一人身になって姉兄のいる苦小牧に転入したものの、知り合いも余りおらず、これからどうしようかと思っていたら日常生活自立支援事業の生活支援員と市民後見人養成研修の案内を見てコレヤと申込ました。



安堵城健二様

コロナ禍の影響がありませんでしたが、無事研修を修了し支援員として登録し、後見支援センターの皆様のお力添えをいただきながら支援員として楽しく活動させていただいております。

この度、今まで後見支援員として対応していた方の成年後見人として審判を受けました。私自身いつの間にか後期高齢者の仲間入りにもう少しという年齢になってしまいました。研修で学んだことを復習しながら後見支援センターの皆さん、そして今、活躍されている

皆さんのお力をお借りしながら、被後見人様が恙なく過ごされるよう努めたいと思います。

そのためにも皆様との交流を深め情報を共有させていただき、共に歩みさせていきたいと思います。よろしくお願いします。

第10期生

市民後見人養成研修 始まりました

▼グループ研修討議



12月11日（土）令和3年度第2回目の市民後見人養成研修が始まりました。養成研修は正月を越して1月22日までの12月25日と元日を除く毎土曜日、延べ5回の座学31時間の講座が組まれています。受講者は7名と少数精鋭です。厳冬期に向かつては体調管理に十分に留意され、晴れの修了式当日には誰一人欠けることのないよう衷心よりご祈念申しあげます。